

3.1.8

背理法で示す.

$\sqrt[3]{2} \in \mathbb{Q}(\sqrt[4]{2})$ と仮定すると, $\mathbb{Q}(\sqrt[3]{2}) \subset \mathbb{Q}(\sqrt[4]{2})$ となり

$\mathbb{Q}(\sqrt[4]{2})$ は $\mathbb{Q}(\sqrt[3]{2})$ の拡大体となる.

ここで $x^4 - 2$, $x^3 - 2$ はアイゼンシュタインの判定法より \mathbb{Q} 上既約である.

すなわち $x^4 - 2$, $x^3 - 2$ はそれぞれ \mathbb{Q} 上の $\sqrt[4]{2}$, $\sqrt[3]{2}$ の最小多項式となる.

$$\text{よって} \quad [\mathbb{Q}(\sqrt[4]{2}) : \mathbb{Q}] = 4 \quad [\mathbb{Q}(\sqrt[3]{2}) : \mathbb{Q}] = 3$$

$$\text{ゆえに} \quad 4 = [\mathbb{Q}(\sqrt[4]{2}) : \mathbb{Q}(\sqrt[3]{2})] \cdot 3 \quad \text{となるので矛盾.}$$

$$\text{したがって} \quad \sqrt[3]{2} \notin \mathbb{Q}(\sqrt[4]{2}) \quad \text{となる.}$$